

栄光園だより
第130号

2023年1月31日発行
発行
社会福祉法人 栄光園
別府市南荘園町3組
〒874-0904 電話 (23) 2827
<http://www.eikoen.jp/>
編集 広報誌編集委員会
印刷 大野印刷株式会社
別府市青山1-7 電話 (21) 0505

自身が自閉スペクトラム症である お母さんたちから学んだこと

大分大学 福祉健康科学部 准教授 飯田 法子



私はこれまで臨床心理士として、地域福祉の現場で子育て中のお母さんの悩みを聴く機会に恵まれてきました。近年、お母さん自身の自閉スペクトラム症(以下ASD)の特性と児童虐待との関連の研究が報告されるようになっていきます。私が出会ったお母さんの中にもその特性のある方がおられ、皆さん大変子育てに苦しんでいました。そこで私は2011年にその特性のある4名のお母さんたちに対して子育てに関するインタビュー調査を行いました。今回は、その調査を通してお母さんたちから学んだことについて述べたいと思います。

まず、印象的であったことは、お母さんたちは「人の気持ちかわからない」という(想像力の障害ともいわれる)自身の特性から、「子どもがなぜ泣いているのか」、「子どもが何を思っているのか」、「なぜ自分に笑ってくれないのか」、「離乳食を食べない理由は何か」といった点がわからず、大変困惑していたことです。その結果、「子どもが私を嫌っている」、「自分は母親として失格だ」と思い込み、中には赤ちゃんを床に落とした人もいました。また、「聴覚過敏」という特性のために、赤ちゃんの鳴き声に耐えられず、布団でグルグル巻きにして押入れに閉じ込めていた人もいました。お母さんたちは、家事と育児を同時に行うことが苦手で、家事は夜中に行わざるを得ないため、睡眠時間が大幅に不足し、疲れ果て、過去にうつ病の診断を受けていました。実家の母親との折り合いは悪く、その他、人間関係上の過去の手痛い経験から、人を頼れない傾向にありました。お母さんたちは、数々の特性からくる困難を抱えつつ、一人で子ども

と向き合っていたのです。大変過酷な状況でしたが、全員が「良い母親になりたい」という強い願いをもっていました。

支援の具体例

さらに支援者に何を求めるかと尋ねたところ、受容、傾聴、あたたかい表情、優しい口調、など一般的なカウンセリングにおいて求められる基本姿勢を求めていることがわかりました。その他、注目すべきは「具体的な言葉を用いて説明してほしい」という点でした。例えば疲れているように見えるからと「今日は無理しないで休んでね」といっても、「どうやって休めばよいのか」がわからないのです。そのような時には「今日の夕食は作らずにお弁当を買ってみてはどう?」というのがあります。「(熱が心配なので)明日の登園については様子をみてください」という場合には、「子どもの熱が37度台になっ

たら保育園を休ませてください」と具体的にイメージできる言葉に置き換えて欲しい、自分が理解できないことをわかって欲しい、ということなのです。この話を聞いて、私自身、これまでの支援で具体的な言葉を用いていただろうか、と反省することしきりでした。

私はこの調査を通して、当事者の思いを理解し支援につなげることの重要性を再認識しました。つまり、当事者こそが、その困りの専門家だ、ということです。現在、私はお母さんたちから学んだことを多くの人に理解してもらいたいという願いをもって、さらなる支援やそのための研究を行いたいと考えています。



謹賀新年

いつも社会福祉法人栄光園に対する格別のご厚誼を賜り、心から感謝いたします。

本年も相変わりにませずご指導・ご支援を賜りたくお願い申し上げます。

2023年 1月

- | | |
|------------|-----------|
| 社会福祉法人 栄光園 | 理事長 江口 敏一 |
| 児童養護施設 栄光園 | 施設長 岡田 豊弘 |
| 乳児院栄光園 | 施設長 安西 恵子 |
| 青山保育所 | 所長 本庄 智宏 |
| 野口保育所 | 所長 工藤 直子 |
| | 職員一同 |



いる大きな目的は二つあります。一つはおやつ以外のお買い物を経験すること。お店で食材を選んで買うことを低年齢のうちから経験させたく始めました。最初は食材を見つけるのも、選ぶのも迷っていた子どもたち。最近では「きのこは野菜の近くにある」「卵はここじゃない」と言ったり、以前買った食材を覚えていて「このひき肉はハンバーグの時に買ったよね」等話したりする姿も多く見られます。時には、子どもたちの気分に合わせて食材やメニューを変更することもあります。

二つ目は買った食材で調理をし、美味しく食べること。だんだん包丁の使い方も上手になり、卵を割れなかった子が卵焼きも一人で作れるようになりました。調理の中で「人参を包丁で切るの hands が痛くなる」「フライパンで食材を炒めるのは熱くて大変。大人も熱いのに僕たちのために頑張ってくれている」という声も聞こえ嬉しく思います。

また、自分たちが作ったものをお兄ちゃんたちが美味しいと食べてくれる姿にともうれしそうな子どもたち。これからも、子どもたちが様々な経験

キヤリンホーム いつか、きつと

を通して成長していくことを楽しみにしています。

児童指導員 衛藤 彩香

様々な家庭の理由で施設へ入所している子どもたち。多くの課題を抱えた担当の子どもにも暴言吐かれ、物に当たる姿を見て「必死に対応しているのに、なぜ思いを理解してくれないのか」と心が折れそうになることが多く、そのたびに自信が無くなり、悩み苦しみます。正直、何度辞めようと思ったか分かりません。

それでも、苦勞が吹き飛ぶ瞬間があります。以前イライラすると物や人に当たる同ホームの中学生から「俺も前あんなことあったよな。」「イライラして物に当たったりしたよな。今では馬鹿馬鹿しい。なんであんなことをしてたんかな。」とこれまで自身の経験や体験を思い出し客観視できるようになっていることに成長を感じました。そして、それを言葉にして伝えてくれたこと、苦勞が吹き飛んだ瞬間です。



根気強く向き合っていればいつかきつと担当の子どもへ思いが伝わるかもしれないと思っています。この仕事のやりがいを感じる時はすぐに来なくてもいつか来るものだと思います。これからも子どもたちと共に支え支えられながら過ごしていきたいです。

「荘園町ふれあい祭り」に参加して

11月13日 荘園町主催の「荘園町ふれあい祭り」に参加させていただきました。



小学3年生から6年生の児童と手芸が好きな中学生を中心とした児童と職員で作ったペットボトルキャップケーキやガラススタイルコースター、傘シュシュの販売をしました。初めての販売に子どもたちはとても張り切っていました。

また、じゃんけん大会、カラオケ、ひょっとこ踊り等のイベントにも楽しく参加させていただき、エンディングを飾る「古戦場子ども太鼓」の演奏では、迫力ある太鼓の演奏と太鼓の響きを全身で楽しんでいました。

皆様のご協力で子どもたちの作った作品もすべて完売となりました。皆様のご協力に感謝いたします。

お祭りに参加されていた皆様の温かい関わりのおかげで、子どもたちにまた新しい経験をさせてあげることができました。ありがとうございました。これからも地域活動に参加しながら地域の中でたくましく育ってほしいと考えています。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

乳 児 院

あけましておめでとうございませう。子どもたちの元気な声や挨拶と共に、新しい年がスタートしました。

今年の干支は兎。子どもたちと一緒に元氣いっぱい飛び跳ねて、二日一日を大切に過ごしていきたいと思ひます。

ぞうグループ紹介

看護主任兼ぞうグループリーダー

福本 有輝

ぞうグループは現在6名(2歳〜2歳11ヶ月)で生活をしています。発達の個人差はありますが、生活に必要な言



葉が分かるようになり、要求や気持ちを言葉で伝えるようになり、また、養育者や友だちと簡単なごっこ遊びややりとりを楽しみむようになり、日々成長していく姿に驚かされる毎日です。

12月は誕生日の子が2人もいて、誕生日に向けて子どもたちとハッピーバースデーの歌の練習をしたり、指で

何歳が出来る様に伝えたりしてました。子どもたちの上達も早く、楽しく歌ったり、お話ししたりしている姿を見ると微笑ましく感じました。

また、12月はクリスマスもあり、ツリーの飾りつけや、クリスマスケーキやプレゼントのお楽しみもあり、沢山の笑顔が見られ、今現在もコロナ禍による養育環境の変化により、子どもたちの社会への色々な体験が限られている中で少しでも楽しいことが嬉しく感じています。

昨年引き続き、感染症対策をしながら子どもたちに経験や体験が出来るようにし、また、成長や発達も促しているように、寄り添いながら子どもたち一人ひとりにあった支援を心がけていきたいです。

あ〜おいしかった!!

保育主任 得能 三志郎

新型コロナウイルスが終息せず、現在第8波のコロナウイルスが蔓延している、子どもたちは、園外保育での社会体験が出来ないことが続いています。

そんな中、12月にドミノ・ピザ別府市役所通り店様から地域支援という



形でピザをクリスマスプレゼントしていただきました。

職員が夕食前にピザの箱を持って帰ると、『なにになに?』と子どもたちが近付いてきました。すぐにいい匂いが漂い食べ物だと分かったようで、「食べる。食べる。」と喜ぶ子どもたち。席について、ピザの箱を開けると、目を輝かせながら、「うわー」と拍手をして、「おいしそう」ととても喜んでいました。ピザを一口食べると「おいしい」と、みんな笑顔で次々にピザを食べ、アツという間に完食しました。

園外で、社会体験がほとんどできず寂しい思いをさせていますが、今できる支援を考えながら、子どもたちが楽しめるようにしていきたいです。

ドミノ・ピザ別府市役所通り店様に心温まるプレゼントをしていただき、職員一同大変感謝しております。ありがとうございます。

青山保育所

メリークリスマス

保育士 尾原 亜紀

12月23日は青山保育所のクリスマス会がありました。子どもたちは雪が舞うなか登園すると、ピカピカ光るイルミネーションや園庭に流れるクリスマスソング：いつもと違う雰囲気なウキウキ・ソワソワしている様子でした。保育士が被っているサンタ帽を見て、「サンタさんくるかなあ?」と楽しみな



ようでした。そんな中、「何か外で音がする」とのことで、みんなでテラスに出てみると、鈴の音と共にトナカイにひかれたソリに乗ったサ

ンタさんが登場!雪は舞っていました。吹き飛ばすほどの歓声があがりました。ぱんだぐみ1・2歳児のお友だちは嬉しそうにタッチしてもらったり、少し離れて様子を見たりと様々な反応でした。サンタさんからのプレゼントは、12月生まれのお友だちに受け取ってもらいました。みんな嬉しそうでした。

たくさん食べて、寝て、楽しいクリスマス会もこれで終わりと思いきや、お昼寝の後にもまだまだ楽しさが待っていました。なんとおやつの際にもサンタさんが来てくれたのです。今度は1人ずつのプレゼントを持って。近くにいます。隠せない1歳児のお友だちもいました。サンタさんに固まってしまい、戸惑いを隠せないのでお友だちと顔を合わせてにんまりと笑い、喜びを隠せない様子の子もたち。お土産たくさん、胸いっぱい!の一日になったことでしょう。

クリスマスは1年に一度の特別な日。ドキドキしたり、ワクワクしたり、期待感を胸にこの日を待ちわびた自分が幼

かった時の記憶も思い出されます。ささやかなひと時ではありますが、このような喜びや楽しみを子どもたちと共有できる瞬間、保育士であることに幸せを感じます。これからも子どもたちにとくさんの夢と希望を与える「サンタクロース」の存在を伝えていきたいと思えます。

ピカピカにするぞ〜

保育士 清原 里奈

昨年末、子どもたちと一緒にきりん組(3歳児)の大掃除をしました。自分のロッカーや毎日使っている椅子を拭き、最後は床の雑巾がけも行ないました。「1年間使ったものをキレイにして、感謝の気持ちを伝えること」や「1年の最後にお部屋をキレイにすること」で、新しい年を気持ち良く迎えることが出来ること」を伝えると、はりきって取り組む子どもたちでした。きりん組も子どもたちのおかげで、気持ちよく新年を迎えることが出来ました。



待ちに待った体験遠足

保育士 松本 真人

12月7日に5歳児のお友だちが体験遠足に行きました。バスと電車に乗ってホルトホール大分へ行き、溝部学園

短期大学生による「ミュージックカーニバル」を観ました。レストランでのランチや、アミューズラザ大分での買い物も楽しむことができました。

バスや電車に乗る際に自分で運賃を支払ったり、レストランや商業施設など保育所とは違う公共の場所で過ごしたりと、沢山の事を体験できた遠足となりました。また、今回の遠足では「ユニバーサルデザインを探してみよう」をテーマに街にあるユニバーサルデザインを探しました。事前に知らせていた「点字ブロック」や非常口などの「ピクトグラム」を街中で見つけると「あ！ユニバーサルデザインや！」「ここに点字



あるよ！」と友だちや保育士に何度も教えてくれました。こういった経験を通して、子どもたちが自分の周りの様々なことに興味を持ち、好奇心をもって新しいことに触れることができる機会を今後も作っていききたいと思います。

初めての発表会

保育士 溝口 那奈

12月は青山保育所の発表会がありました。うさぎ組の0歳児のお友だちも発表会前日までは、体調が心配なお友

だちもいました。当日は全員元気に参加することができました。

幕が上がって目の前に居る大勢のお客さんたちに戸惑う様子を見せながらも、保育士がそばにいたり、いつもの手遊びやピアノの曲に次第に安心した表情に変わり、普段の保育室での様子を保護者の方に見て頂くことが出来ました。ダンスのプログラムでは、動物の衣装に身を包んで登場した子どもたち。本番までの練習ではあまり踊る姿を見せなかった子が多い中、本番では物怖じすることなく元気に踊る姿を見せてくれて驚きました。子どもたちにとって新たな経験ができたことと思います。



野口保育所

主任保育士 末吉 佳奈

明けましておめでとうございます。本年もよろしく願ひ致します。昨年の秋から冬にかけての行事を、少しずつですがご紹介します。

運動会

10月22日(土)栄光園グラウンドにて運動会を行いました。コロナ禍の中

の運動会ではありましたが、お家の方々にとくさんの拍手で応援していただき、子どもたちは最後まで頑張ることができ、とてもかっこよかったです。ありがとうございました。保育園の大きな行事の一つである運動会での経験は、子どもたちの自信となり、また一つ成長したのではないかと思います。



秋の味覚祭り

秋といえば「食欲・味覚の秋」ということで、食育の一環で味覚祭りを行いました。0、1、2歳児クラスは目の前で保育士が野菜を切る音を聞いたり、野菜の匂いを嗅いだりしました。その後はコロナ対策をしっかりと行いながらみんなでクッキング！0、1、2歳児は野菜をちぎり、3歳児は野菜を洗ったり、すいとなを作ったりしました。4、5歳児はピーラーや包丁を使って野菜の皮をむいたり切った



りしました。

この日は天候に恵まれ、みんなで一緒に園庭で食べました。給食の先生がテラスでチキンを焼いてくれたり、すいとん汁や新米でおにぎりを作ってくれたので、園庭中にいい匂いが広がりました。

遅ればせながらの夏祭り

コロナ感染拡大のため、8月に予定していた夏祭りを11月5日(土)に行いました。コロナ禍の中、遊びのコナーでは、密にならなようにグループごとに分かれて楽しませました。催し物では、先生たちが手作り楽器の演奏を披露してくれました。その後は、子どもたちもそれぞれのクラスで作った楽器で「南の島のハメハメハ大王」の曲を演奏しました。給食の先生から保育所で人気の手作りおやつのお土産をもらい、嬉しそうなお友だちでした。



クリスマス会

子どもたちが、毎年楽しみにしているクリスマス会！保育室・廊下・窓に飾られたクリスマス一色の飾りの雰囲気。毎日「サンタさん来るかな」と子どもたちは楽しみにしている様子でした。会では保育士のミニシアターを見たり、



サンタさんとトナカイさんにプレゼントをもらったり、サンタさんの伴奏と一緒に歌も歌いました。給食の先生が作ってくれたクリスマスランチを嬉しそうに食べて楽しいクリスマス会になりました。

もちつきしたよ！

全クラスで餅つきをしました。「べったんこ〜それべったんこ〜」と歌いながら杵で餅をつき、年長の5歳児が鏡餅を作ってくれました。午後のおやつでは砂糖醤油のお餅も食べ、昔ながらの伝統ある餅つきを子どもたちと経験することが出来て、またひとつ楽しい思い出が残りました。



手を洗おう♪

秋から冬の季節は感染症が流行してきます。野口保育所では6月に続き12月1月を洗い月



間とし、紙芝居や絵本、泡の色が変わる石鹸などを使って手洗いの大切さを子どもたちに知らせています。引き続き子どもたちと一緒に楽しく手洗いの大切さを知らせていきたいと思います。

最後に子ども一人ひとりとしっかりと触れ合い、子どもたちが毎日楽しく過ごし卒園していく子どもたちにも良い思い出が出来るように、残りの3か月も職員一丸となって頑張っていきたいと思えます。

本年もどうぞよろしくお願い致します。
野口保育所 職員一同

地域交流事業 集いの場くるみ

地域支援担当 原田 康子

10月 バケツ稲の脱穀・もみすり・精米をしました

今年度、初めてバケツ稲作りに挑戦しました。バケツや、土の用意に始まり、次に種もみの芽出しをし、種まきまでの準備をしました。5月にその種をまき、6月に田植えをし、その後は、水の管理をしながらその生長を見守ってまいりました。8月には、かわいい小さな白い花が咲き、9月には、お米の穂が出てお米の粒が少しずつ膨らんできました。そして、10月には、稲刈りをしました。そして、刈り取った稲の脱穀もみ

聖書の言葉

「旅人(見知らぬ人)をもてなすことを忘れてはいけません。そうすることで、ある人たちは、気づかずに天使たちをもてなしました。」

別府不老町教会 牧師 尾崎 二郎

(ヘブライ人への手紙13章2節)

教会では今、「神よ、コロナ禍にあっても、私たちに『自分や大切な人』だけでなく、見知らぬ人や旅人をもてなす心を与え、常に永遠の命の道を歩むことが出来るようにして下さい。キリストによって」と祈っています。見知らぬ人や旅人へのもてなしは、キリストの本質にある心で、キリストは自分にとって「大切でない人」を疎かにする方ではないのです。

マリアとヨセフにとって御子イエスは、身に覚えがない妊娠によって与えられた子で、信仰がなければその子は大切に育てられることはなかったでしょう。しかし、両親が神を信じたので、御子は天使のように大切にされたのでした。又、この両親ばかりでなく、羊飼いははじめ、神を信じて集められた全ての人が、御子を神の子としてあがめたのでした。

人は、誰も出会いの時は見知らぬ人同士ですが、もてなし合って暮らしていくうちに、相手の知らなかった部分を益々知るようになっていきます。「氷山モデル」によれば、私たちが相手のことを分かっているつもりでも、それは相手の表面的な姿、行動、言葉だけで判断したことで、実は相手の深いところまでは見えていない場合も多い、とのこと。

この様に相手という存在には深みがあつて、最初、見知らぬ人であつた相手について益々深く知るようになり、理解出来るようになることは素晴らしいことで喜びでもあるでしょう。でも、人はどうやっても、相手の全てを知り尽くすということは出来ないのでは無いでしょうか。それゆえに対人関係には、試練や葛藤、喜びや悲しみ、人が付き物なのだと思います。或いは、人には、これだけは相手に知られたくないという部分もあつて、それがかえってその人の魅力や長所を形成しているということもあるでしょう。これまで、まことに寄る辺がないような人の姿を記しましたが、そんな中で私たちが人間が、神からは全てを知られ、神の前に隠れることが出来ないという事は、私たちの人生に確かさを与えることではないでしょうか。「あなたがたの髪の毛までも一本残らず数えられている」(マタイ10:30)とイエス様は私たちに言われました。クリスマスチャンだつた油屋熊八は、信仰によって活動し、今日の聖書の言葉を、「旅人をねんごろにせよ」と唱えつつ、二階二間、階下二間のささやかな旅館を、この別府の地に開業しました。その後、彼は、この聖書の言葉に従って、多くの旅人を厚くもてなしていったのでした。



すり、精米など食べられる白米までの工程を実際に行ってみました。

今回のバケツ稲は、無農薬で育てていたこともあり、稲の中に病気が入って稲の収穫量はかなり少なくなりましたし、何より、白米にするまでの過程の大変さを実感いたしました。「お米は、八十八の手間がかかっている」という言葉が頭に浮かびました。

一粒一粒無駄にしないようにしましようね。

11月 防災について考えよう

11月のくるみは、『防災について考えよう』ということで、大分大学 滅災・復興デザイン教育研究センター 防災コーディネータの板井幸則先生においでいただき、防災についてのお話をさせていただきました。

まず先日行われた鶴見岳の山頂付近にある赤池噴気孔での現地調査のお話や噴気孔の映像を見せていただき別府の特徴などに目を向けることができました。そして、東日本大震災のときのお話な

どを交えながら、実践的な身を守る方法を教えていただきました。お話の後半では、防災に関する〇×クイズを出題して下さるなど子どもたちは最後まで楽しく防災の話を聴くことができました。

私たち大人も、非常用持ち出し袋の準備をするなど災害に対する準備をしてきたつもりでしたが、袋を準備することで満足していて、避難する心の準備が出来ていないということに気づかされました。子どもたちに自分の身を守ることを教えないならまずは、身近な大人

が防災について真剣に取り組むことで子どもたちの意識も変化してくるのではないかと思えます。まずは、大人が、真剣に防災について考えていきたいと思えます。

最後に、先生から『命を守る3つの約束』を教えてくださいました。

- ①(朝)ご飯を食べる
- ②寝る前に服を準備
- ③靴をそろえる

子どもたちには、災害が起きた時自分の命を守るために安全な場所に避難できるようにもなってもらいたいものです。災害が起きた時、まずは安全なところに逃げるのが一番なのですから…。



12月 しめなわ飾りを作りました

12月のくるみの活動は、

しめなわ飾りを作りました。市内にお住いの森永静夫様においでいただき、しめ縄づくりの指導をしていただきました。

ボランティアの大人に手伝ってもらいながら、縄を縛うことに挑戦しました。初めに森永さんに縄を縛っていただきましたが、子どもたち

は、初めて目にする縄を縛う姿を食い入るように見ていました。参加したほとんどの児童にとつて初めての経験でしたので、皆新鮮な気持ちで活動に取り組んでいました。

縄が完成したら、次は飾りつけです。事前に準備したたくさん飾りの中から自分でいくつか選んで飾り付けていきました。来る年の幸せを願いながら一つ一つ丁寧にしめ縄かざりを仕上げていました。



職員の動静

採用

● 青山保育所
大平 葉子(調理員) 12月6日付

退職

● 児童養護施設栄光園
東條 岬(児童指導員) 12月31日付
● 乳児院栄光園
江川 清美(調理員等) 10月31日付
● 青山保育所
麻生 瑠希(栄養士) 12月5日付

栄光園のご支援者

ご支援ありがとうございます。

栄光園は多くの皆様の継続した温かい思いによって支えられてきたことを心から感謝いたしております。皆様のこのような思いは、子どもたちの成長にまた、働く私たち職員への励みに大変大きな力となっていることをいつも嬉しく思います。

【2023年10月1日〜2023年12月31日】

賛助金

- 安部保様 別府市
- 安部道人様 大分市
- 安部良一様 日出町
- 池田順行様 町田市
- 鎌田宏子様 横須賀市
- 吉良頌三様 別府市
- 貞閑公認会計士事務所 貞閑孝也様 大分市
- 武生紘司様 別府市
- 立花旦子様 大分市
- 豊田憲生様 別府市
- 永尾福康様 別府市
- 長谷川士郎様 別府市
- 帆足球也様 練馬区
- 帆足和生様 別府市
- 松本小児科医院 松本重孝様 別府市
- 松本洋子様 別府市
- 宮本妙子様 別府市
- 山口産業(株)様 別府市
- 飯田法子様 佐伯市
- 井上せつ子様 大分市
- 岩切義和様 大分市
- エンジョイゴルフ大分事務局様 別府市
- 大分総合会計事務所様 別府市
- 大宮遊技場組合様 さいたま市
- 亀井浩様 別府市
- 川本順平様 別府市
- 木村洋子様 大分市

三栄建設工業(株)様
真愛幼稚園様
第一生命労働組合大分支部様
高木政嗣様
匿名様
日本基督教団門司大理解教会様
日本競輪選手会大分支部様
原順子様
姫野善昭様
別府不老町教会様
別府不老町教会婦人会様
松本常圃様
御ちはらコーポレーション様
御波津久養豚場様
吉村克幸様

大分市
別府市
大分市
別府市
別府市
北九州市
別府市
別府市
別府市
別府市
別府市
別府市
別府市
福岡市
福岡市

自立進学資金

岡口文明様
kohaku(有)様
梶原康弘様
神鳥慶子様
くろーばー薬局様
齋藤正治・康代様
萩野克彦様
波多野郁子様
平川順子様
南範子様
匿名様

大府市
別府市
大分市
杵築市
別府市
日出町
箕面市
別府市
別府市
中津市
中津市

特別物品寄付

図書カード ビューティモア 中村雄一様
WESTVILLE 西村大輔様
スリッパ・文具 (賞)合澤文化堂様
おせち料理 ぐるーん大分・アサヒビル(株)様
映画鑑賞券 安部様
ケーキ 安部純子様
書籍 荒木正和様
パン 石窯工房モコモコ別府店様
さつまいも 伊藤一幸様
みかん 今橋さほ様
みかん 匿名様
米 上杉敬三様
クリスマスケーキ アニマルレスキュー浦川様
ジュース 江藤行大様

米 大分県農業共済組合様
書籍 大分県遊技業協同組合様
お菓子 大柳恵子様
おむつ等 岡嶋加菜様
米 萩原書籍様
さつまいも 尾崎二郎様
ケーキ ガーデン歯科様
ぶどう 角脇博文・多喜子様
食品 (株)フレイン様
お菓子 九州労働金庫別府市支店様
お菓子 釘宮英子様
米 匿名様
パン ココラート様
米 後藤正己様
米 佐藤断熱 佐藤千秋様
お菓子 洋服・おもちゃ 三栄建設工業(株)様
お菓子・雑貨 清水沙椰様
シャネルリー 全国シャネル協同組合様 (株)ジャムズ様
クリスマスケーキ 白石郁様
紙おむつ 瀬織津姫様
大根・人参・黒豆 高橋恵一様
紅葉・源平桜の苗木 竹内富美雄様
米 田中喜久男様
乳幼児服等 谷まい様
クッキー ティム・ディック様
洋服・ベビーゲート 遠矢・伊藤法律事務所様
米 匿名様
さつまいも 匿名様
包帯 匿名様
パウンドケーキ 匿名様
おもちゃ、鍵盤ハーモニカ他 長尾健治様
衣類 中村耕吉様
梨・柿・いちご・みかん 中山田正春様
野菜・果物・卵 二宮洋典様
衣類 二ノ宮綾子様
お菓子 日本競輪選手会大分支部様
鏡餅 日本鏡餅組合様
学習用DVD 日本生命労働組合 ふれあいほっぴい基金様
書籍 花本公恵様
練香水 ハンドバードの皆様 三浦様
なす BNR様
お菓子・衣類 福本陽子様

絵本 フレーベル館様
シール (株)ブレッシングス様
お菓子 Hair Salon Aiwa 立川奈美様
米 〆〆日出版業協同組合様
クリスマス飾り 別府不老町教会様
ジュース (株)豊豫物産 会長三ヶ尻英明様
クリスマスケーキ (有)TN保険ひろば様
DVD ほっともつと様
みかん 松下齊様
さといも 松田正人(F・Hももたろう)様
米 松原フアーム様
ケーキ 松本常圃様
お菓子 別府国際観光港みなとまちづくり協議会
みなとオアシス別府港 会長 奥村伸幸様
衣類・おもちゃ 南里美様
トイレットペーパー 南荘園町自治会様
ベビーカー・紙おむつ 宮田愛子様
さつまいも・じゃがいも むぎの会様
お菓子 明治安田生命保険相互会社 大分支社別府営業所様
衣類、ガード 明治安田生命 大分支社 大分北営業部様
クリスマス飾り 門司一徹様
ぬいぐるみ Modoni.Manuel様
米 本林優司様
衣類 矢澤あや美様
栗・柿・お菓子・ティッシュペーパー 山本宣雄様
乳幼児服 山本恵美子様
お菓子・サンリオグッズ
ユニコーラッキーウエスト上人ヶ浜店様
離乳食 雪印ビーンスターク(株)様
絵本 横浜幸銀信用組合様
さんま 渡辺貞夫様
ケーキ アシストワンパートナーズ協同組合様
地域支援としての贈呈
ピザ ドミノ・ピザ別府市役所通り店様

招待・奉仕

集いの場くるみ 平川義文・順子様
小手川裕市様・森永静夫様
姫野喜昭様・村津奈穂様
明治安田生命保険相互会社 大分支社 別府営業所様
散髪奉仕 WEST VILLAGE 西村大輔様
散髪奉仕 ビューティモア 中村雄一様
散髪奉仕 Hair Salon Aiwa 立川奈美様

観劇招待
七五三着付け
七五三撮影
劇団立見席様
エッチ美容室様
木村写真場様

賛助会員募集

年会費、一口千円、但し、何口でも、分割も可。
ご連絡いただければ職員が参上します。栄光園賛助会事務局は、別府市南荘園町3組です。
賛助会員の皆様には、栄光園の広報誌『栄光園だより』を送付させていただきます。

郵便局での振込は左記までお願い致します。
口座名義 社会福祉法人 栄光園
口座番号 019300220748



苦情等相談窓口

*法人および各施設での苦情等は下記の連絡先へご相談ください。
tel.0977-23-2827
fax.0977-23-7520
mail eikoen@live.jp

編集後記

日本の少子化が進みついに2022年の出生数が80万人を切る見通しとのニュースが報じられました。少子化が問題化され始めた40年、少子化対策が待ったなしの状態となっています。それに加え、混沌とした世界情勢や地球規模の異常気象など子どもたちの未来に暗い影を差していますが、子どもたちの明るい未来のため、今、目の前にある課題解決が、私たち大人の宿題だと考えます。

子どもたちは、希望の光です。生まれてくる子どもたちを温かく迎えてあげられる社会であってほしいと願っています。
(原田)